

(参考)

<野川沿いの地質と地下水、河川水の状況>

地表から約10mにある武蔵野礫層中にある浅層地下水の流向は、全体的に北西から南東に流れています。国分寺崖線付近では、南西方向にも流れていると考えられます。

この地下水の一部は、湧水となって湧き出しています。また、地下水と野川は立川礫層を通じてつながっていると考えられます。

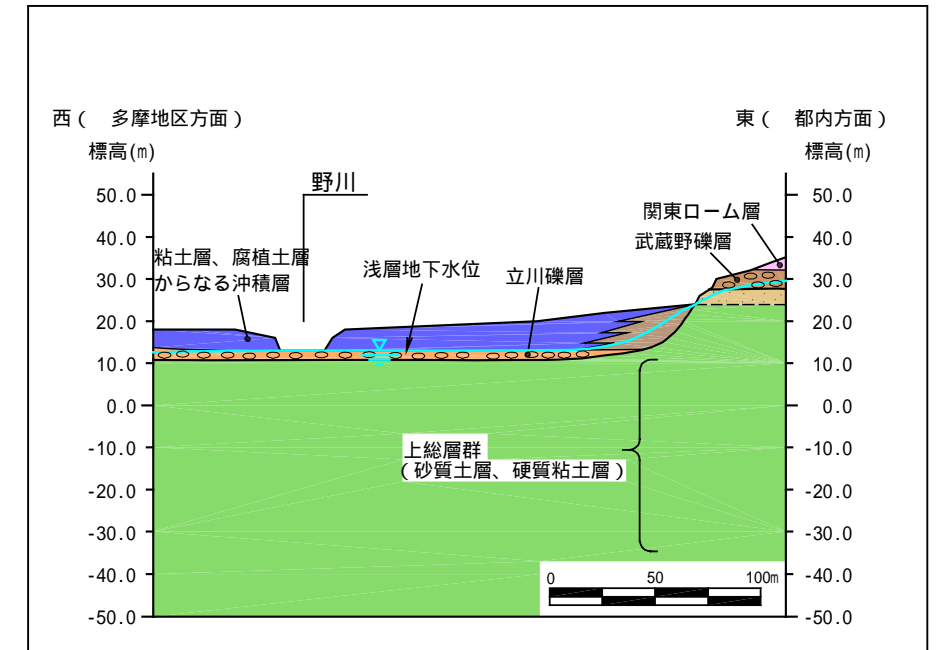


図 - 1 野川沿いの地下水位標高と流向、地質断面図

<中央道周辺の地質と地下水の状況>

地表から約5mにある武蔵野礫層中の浅層地下水の流向は、北西から南東方向に流れていると考えられます。仙川沿いの低地では、武蔵野台地あるいは仙川上流より地下水が流れてきており、仙川の下流に向かって流れていると考えられます。

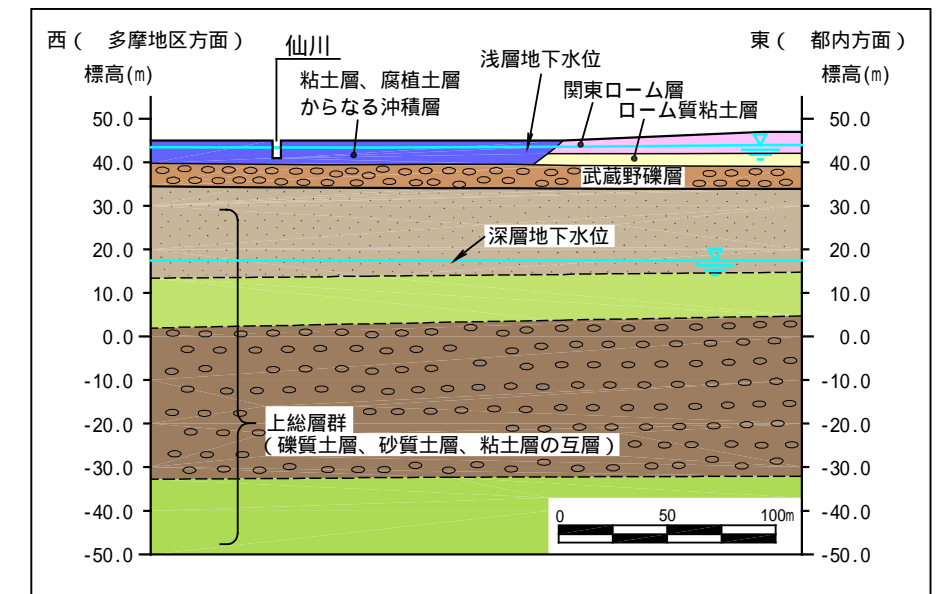
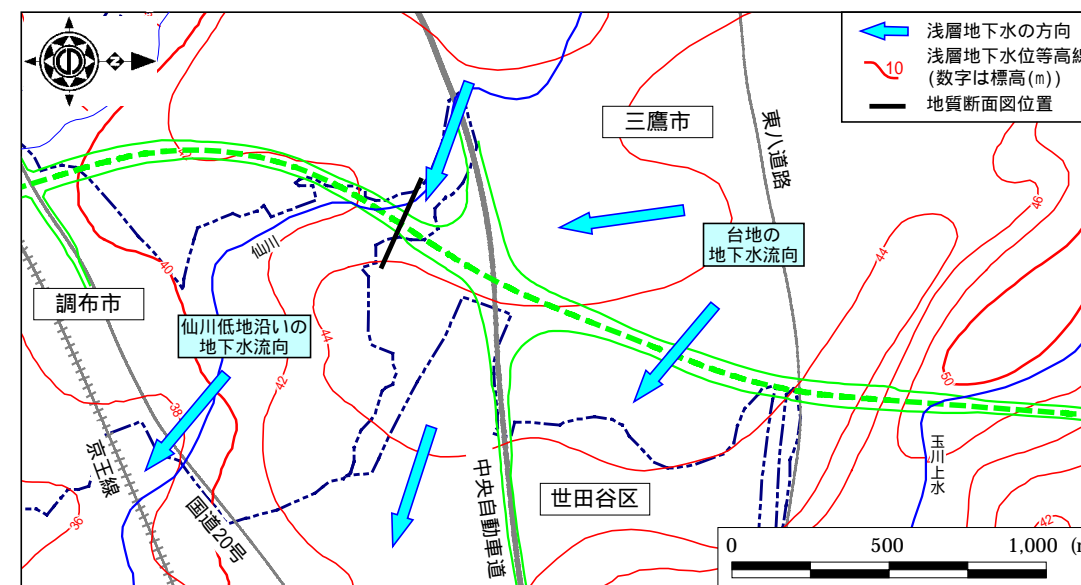


図 - 2 中央道周辺の地下水位標高と流向、地質断面図